

アマチュア無線機、半導体・放熱板(ヒートシンク)、バルブ関連、弱电分野で実績 ダイカストメーカーからの信用、信頼で安定した受注積む

ダイカスト部品加工で差別化する北久保製作所(東京・東村山市)
— ユキワ精工製ツーリングユーザー訪問 — 北久保賢人社長に聞く



穴加工、形状加工でスーパーG1チャックとグリーンG1チャックを使い分けしていると語る北久保社長

「2022年には旋削機能 併せ持つブラザー工業製 スピーディーオ導入」

ユキワ精工のツーリングを積み上げていきたい、切削条件を2倍以上、上げてもらえなくなり、精度も向上したと語るのは、東京は東村山市を拠点に、ダイカストの部品加工で差別化を図る北久保製作所の北久保賢人社長だ。

「当社は、狭山市、川口市など、埼玉でダイカストを手がける企業さんからの受注が大半で、内容としてはアマチュア無線機関連が3割と最も多く、次いで半導体放熱板(ヒートシンク)関連で2割、残りはバルブ関連、弱电関連などで占める。2022年に社長に就任した際の抱負でもあるが、将来的にはセンサーに関連する需要の伸びが期待できる弱电分野で実

穴加工でビビリ発生し取引商社に相談 スーパーG1チャック推奨され、 試すと「ビビリ一掃され、切削条件を 2倍に上げてもらえず、精度も向上」 刃持ちの良さにも直結

「旋削能力も兼ね備えた複合加工機。弱电関連の分電盤に関する部品加工で導入した。1ロットでおよそ1000個、種類も多いが、ワンチャックであらゆる面、角度の加工を精度良く、自在に行えるメリットは大きい。1本の「配線を通す窓に当た



エンドミル加工で、グリーンG1チャックを使用すれば、切削速度を従来比3倍以上上げて大丈夫だと言う



加工部品の一例

「3倍以上回転数を上げても、ビビリせず、刃物も傷まない」
エンドミル加工ではグリーンG1チャックを活用
久保社長の祖父がボール盤を導入して起業し、父である会長が設備を駆使しつつ工場の効率化、生産性向上に尽力してきたことが、ミニセンター導入による成果の例だが、建築関連で「ドーナツの「カキ部」の加工でボール盤では、せいぜい200個だったのが1000個へと飛躍的な拡大を遂げた。設備の効用を肌で感じた次第だと振り返る場面も。

穴加工でスーパーG1チャック、 形状加工でグリーンG1チャック をそれぞれ活用

「スピーディーオ」とは、最近では昨年の2022年ブラザー工業製スピーディーオ「M200X3」を導入した。「旋削能力も兼ね備えた複合加工機。弱电関連の分電盤に関する部品加工で導入した。1ロットでおよそ1000個、種類も多いが、ワンチャックであらゆる面、角度の加工を精度良く、自在に行えるメリットは大きい。1本の「配線を通す窓に当た

「穴加工でスーパーG1チャック、形状加工でグリーンG1チャックをそれぞれ活用」
「穴加工でのスピーディーオの効用に続き、エンドミル加工でグリーンG1チャックを試してみた。3倍以上、回転数を上げてもらえず、刃物も傷まない。効率がアップし、精度面でも申し分ない結果を得た。」
穴加工でスピーディーオチャック、形状加工でグリーンG1チャックという棲み分けを図り、効率と精度の両面で結果を出している。



速くキレイに削れるECOなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に迫り着く
ツーリングシステム
グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

